

すくすくおもちゃだより 5月



逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本号由香

2026.5.11

地階すくすくルームには、0～3歳頃のお子さんの発達に合わせた玩具を、沢山取り揃えています。今年度はこのおたよりにて、すくすくで人気の玩具を一部、紹介していきます。また私事ですが、東京おもちゃ美術館の『おもちゃコンサルタント』の資格を取得しましたので、その際に学んだ事（聞いた話）をひとことコラムとして少しお伝えしたいと思います。



カラーフレンズ

グリムの人形で、7色の人形がそれぞれの色のカップに入っています。そのカップから出したり入れたりを楽しんだり、カップを裏返して乗せたりもできます。少し大きな年齢になると、他の積み木と合わせて遊ぶ姿も見られます。また、昨年度は、誕生日ケーキとして活用する子どもの姿もありました。



グリムトラック

上記のグリムの人形を、数人乗せる事ができるトラックです。また、すくすくでは、シュライヒの動物を乗せたり、小さな木の車を乗せたり、色々な物を乗せて運ぶ姿があります。大きさがしっかりあるので、動かすのも安定し、楽しそうです。また、0歳児から使用できるように、舐めても安全な塗料が使っています。



アーチレインボー (小)

この玩具は様々なサイズや、色があります。すくすくにあるのはスタンダード色の小サイズです。まずは、アーチレインボー本体を積んだり並べたりを楽しみ、少し大きな年齢になると、人形や動物、電車や車と組み合わせて、ごっこ遊びを楽しんだりします。2セットある場合には、輪のように置き、上にボールを乗せ、転がす遊びもできます。1歳～大人まで幅広く楽しめる玩具です。



ひとことコラム

前号にて、日本の郷土玩具についてのお話をさせていただきましたが、今回は『木馬』についてのお話です。木馬はイギリス発祥で、元タイギリスには“我が子が生まれると、本当の馬に乗せて健康をもらおう”というしきたりがあったそうです。しかし、家で馬を飼う事が減ってきた事から、代用品として木馬が誕生したとの事でした。初めは、本物の馬のサイズで作った、大きい木馬だったようですが、家に置くのが大変という事になり、どんどんとミニサイズになって、今の小さな木馬になっていったそうです。イギリスでも、こうした子どもの健康を願う玩具がある事を知ると、日本に限らずどの国でも、昔から願うのは“子どもの健康”なのだ、と感じます。昔は今よりも子どもが健康に生きるのが難しい時代だった事で、どの国でも、その願いを玩具にも込めていたのですね。なかなか、昔をさかのぼって玩具を知る事はないので、少しでも参考になれば、嬉しいです。